

単
元
名

(国語) よりよい学校生活のために

すすめようバリアフリーわたしたちにできること

教科書出版社名 (光村図書出版・東京書籍)

- 小学校 (5) 年 教科等 (総合的な学習の時間・国語・体育・道徳)
- 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・みんなが過ごしやすい学校にするために自分たちが伝えたい内容を資料にまとめ、地域団体の方へ報告したり、日常生活の中で実践したりすることができる。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・目的に応じて、図書資料及びインターネット等の複数の資料の中から必要なものを選び、分かりやすくまとめることができる。

- この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集 … 書籍やインターネットから必要な情報を集める。

●整理・分析…学校におけるバリアフリーの課題について、自分なりの解決策を考える。

タブレットを効果的に活用して、意見を共有・整理し、班の意見としてまとめる。

●まとめ・表現・発信…自分たちが過ごす学校が、誰にとっても安心してすごせる場になるために必要なことを考え、発表する。

地域団体の方に意見をもらうことでさらに考えを深める。

- 学習の展開 (全 2 1 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第 1 次 (8 時間) (総 6 ☆・体 2) パラリンピックについて調べよう	○パラリンピックを通じて、様々な障がいのことについて知る。 ・パラリンピックのことを知り、競技について調べる。 ・パラスポーツ体験をする。
第 2 次 (7 時間) (道 2 ・総 5 ☆) ノンステップバスでのできごと	○施設のバリアフリーについて調べる。 ・観光地のバリアフリー、身の回りのバリアフリーについて調べる。 ・調べてまとめたことを報告し合い、どのような人達のための工夫なのかを考え、分類する。
第 3 次 (3 時間) (国 2 ・総 1) みんなが過ごしやすい町へ	○学校におけるバリアフリーについて考える。 ・誰にとっても過ごしやすい場所になるために、何が必要か考える。 ・人 (一人ですること、みんなですること)、環境 (設備を整える) に分類し、これから自分たちが心がけていくことをまとめる。
第 4 次 (3 時間) (国 1 ・総 2) 伝わる表現を選ぼう	この学習を通して考えたこと、伝えたいことを発表する。 ・地域の福祉施設の職員の方々に意見をもらい、さらに考えを深める。

(本時 16 / 21 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
目的に応じて、図書資料やインターネット等の複数の資料の中から必要なものを選び、調べることができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 前時のふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・レジャー施設にはさまざまなバリアフリーがあった。 ・自分たちの身の回りには、同じような工夫があるのだろうか。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 身の回りのバリアフリーについて調べよう </div>		
35	2. 図書資料から、「身の回りのバリアフリー」で自分が詳しく調べたいものを探す。 <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーについての資料を読み、次に調べてみたい事柄について考える。(道具や設備、どのような人のためなのか、等) ・詳しく調べて発表したい「身の回りのバリアフリー」を3つに絞り、参考になるページに付箋を貼る。 ・適宜、友達がどのように調べているかを交流し、調べ方や資料の読み取り方を参照する。 	学校図書館司書と連携し、さまざまな分野におけるバリアフリーの資料を準備する。
5	3. 今日の授業をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・駅や大型のショッピングモールなど、人の集まる場所にはさまざまなバリアフリーがあった。 ・道具にも工夫されているものがあったことがわかった。 	・次回は、「身の回りのバリアフリー」についてまとめることを確認する。

図書館活用ポイント

施設のバリアフリーについて調べてまとめる。



①名前…ノンステップバスのスロープ

②どんな人のため…車椅子に乗っている人

③かんたんな説明…スロープの表面は滑りにくい仕上げになっている

①名前…階段の手すり

②どんな人のため…盲視の人・目が見えない人

③かんたんな説明…様々な人が使いやすいように2段あり、段には行き先などを案内する番号がついている。

①名前…バリアフリートイレ

②どんな人のため…車椅子の人やベビーカーを推している人

③かんたんな説明…男性用と女性用それぞれあるので利用したい人によって使いやすい。また大きめに作られている。



次時以降にソフト面とハード面に分類する。